

令和4年

3月17日(木)

14:00~16:00



いのち
支える



オンラインによるライブ配信

こころといのちの講演会

思春期の子どもと 接するために

—こころの育ちを考える—



せきや ひでこ
| 講師 | 関谷 秀子 氏

精神科医／法政大学現代福祉学部教授

参加対象 | 都内在住・在勤・在学の方 参加費 | 無料

定員 | 約150名 ※申込方法は裏面をご確認ください

問合せ先 | 東京都福祉保健局 保健政策部 健康推進課
自殺総合対策担当 電話 03-5320-4310

講演会概要

新型コロナウイルス感染症の影響が広がる中、令和2年の全国の児童・生徒の自殺者数が大きく増加しました。子どもたちの自殺リスクの高まりが懸念されている今、子どものころについて理解し、どのように関われば良いのかを知ることは、子どもたちの異変やころの不調に気付くためにもとても重要です。

特に、小学校高学年から高校生の年代にあたる思春期と呼ばれる時期は、子どもから大人への身体の変化に伴って、精神的に不安定になりやすい時期です。「良い子」だった子どもが急に反抗的になることに戸惑い、保護者として、子どもへの接し方の難しさを感じる方も少なくありません。

本講演会では、思春期の子どもがどのような課題を乗り越えて大人になっていくのか、思春期特有のころの発達についてお伝えします。そのうえで、様々な子どもの行動の背景にある子どもの気持ちを理解していきます。そして、それらをふまえた上で、子どもの健やかな育ちを促す親子関係や保護者の接し方などについてご紹介します。

講師紹介



関谷 秀子 氏

精神科医・法政大学現代福祉学部教授。初台クリニック医師。前関東中央病院精神科部長。子どものころ専門医、日本児童青年精神医学会認定医、日本精神神経学会精神科専門医・指導医、日本精神分析学会認定精神療法医・スーパーバイザー。

専攻は児童青年精神医学、精神分析学。児童思春期の精神科医療に長年従事しており、精神分析的な精神療法、親ガイダンスのほか、WEB上での記事連載などを行っている。

参加方法

下記宛先に、件名と本文を入力してメールでお申込みください

申込期限

令和4年
3月4日（金）17時

宛先 | S0000289@section.metro.tokyo.jp
件名 | こころといのちの講演会参加申込
本文 | ①お名前（ふりがな）、②メールアドレス

申込先のメールアドレス



1554

- ・ 無料オンライン配信ツールにより、ライブ配信にて開催いたします。
- ・ 長時間インターネットに接続可能な通信環境の準備、PC・タブレット又はスマートフォンのご用意をお願いいたします。
- ・ 視聴方法等の詳細は、お申込み後にご案内いたします。
- ・ 応募者多数の場合は、抽選となる場合があります。

東京都公式HPで情報発信中

